

# 「当科における肝嚢胞に対する手術患者の検討」について

加古川中央市民病院外科では、現在、肝嚢胞の患者さんを対象に表題の研究を実施しております。研究内容については下記の通りになっております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

近年、腹腔鏡を用いた肝嚢胞の手術が一般的になってきています。この研究は、当院で2017年12月から2024年8月までに肝嚢胞の手術を受けられた患者さんのデータを分析し、手術の安全性や効果、再発の頻度について調べます。

## 【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院病院長承認日～ 2025年 10月 31日

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2017年12月以降に当院で肝嚢胞に対して手術を受けた患者さん20名の診療記録を調査し、以下のような項目を分析します。

- 年齢や性別、嚢胞の大きさ
- 手術時間
- 術後の症状の変化
- 再発の有無や時期

## 【個人情報保護の方法】

この研究では、患者さんのプライバシー保護に最大限配慮し、取得したデータは、個人が特定できない形に匿名化した上で、研究対象患者識別番号リストを作成し、鍵のかかる診療部内のロッカーに保管します。

研究対象患者識別番号リストとは、匿名化されたデータと患者さんの個人情報を結びつけるためのリストです。このリストは、研究責任者のみがアクセスできる場所に保管され、個人情報は外部機関へ提供することはありません。

研究結果は研究対象患者個人が識別されないようにして学会発表を行う場合があります。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

## 【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 外科 責任者氏名：野添 洋平

### **[データおよび試料提供による利益・不利益]**

利益：この研究にご協力いただくことで、患者さんご自身に直接的な利益はありません。

しかし、この研究の結果は、将来、肝嚢胞の患者さんがより適切な治療を選択する際の参考になる情報提供、医学的知見の向上につながります。

不利益：診療録から観察項目のデータのみを利用するため、この研究への参加によって患者さんに直接的な不利益が生じることはありません。

### **[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]**

情報は研究責任者が診療部内の鍵のかかるロッカーで保管し、将来的な研究への活用などの可能性を考慮し、3年間保管した後、電子データの場合は完全に削除し、紙媒体の場合はシュレッダーにかけるなど、復元不可能な方法で廃棄致します。

### **[研究成果の公表について]**

研究成果は患者さんに対して公表する予定はなく、学会発表等で公表する予定です。研究結果についてお知りになりたい場合は、下記の責任者までご連絡頂けますとご対応致します。

### **[研究へのデータ使用の同意辞退について]**

この研究にデータを提供することを希望されない場合は、ご自身の意思で参加を辞退することができます。研究参加を辞退されても、患者さんへの不利益は一切ありませんのでご安心ください。研究参加の辞退の申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。

しかし、同意を辞退された時点ですでに研究成果が論文や学会発表で公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

### **[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 外科  
研究責任者名 野添 洋平  
連絡先：079-451-5500